

あなたと創るあすのふるさと

贈



長崎新聞社

2月に開催された県中国語コンクールの初級・一般の部で最優秀賞に輝いた。学び始めて丸2年。「一層精進し、早く日常会話をできるようにになりたい」と意気込む。

コンクールの内容は、課題文の朗読と中国語による質疑応答。昨年も参加したが、レベルが高く入賞はならなかった。今年こそはと、事前に発表された課題文を知人の中国人に読んでもらって録音し、千回以上読み聞き

県中国語コンクール
初級・一般の部で最優秀賞
いけのうえ かずよし
池上 和芳さん

あの人
この人

観光客の手助けしたい



して臨んだという。
中国語を始めたきっかけは、近年クルーズ船などで本県を訪れる中国人観光客が増え、道案内な

ど小さなことでも手助けできればと思ったから。中国語は日本語と語順が異なり発音も難しいが、そこに逆にやりがいや面白さも感じている。「抑揚が大事。歌うように話すのがこつ」と笑う。

本業は長崎市内で韓国語教室を主宰。いつの日か、日中韓3カ国語を操る「地域限定通訳案内士」としての活躍も夢見る。同市内に家族3人で暮らす。46歳。

(小山健太)